

平成21年5月25日

萩野中学校区住民のみなさまへ

# 萩野中学校区の教育環境整備の 話し合いが進んでいます

新庄市教育委員会

新庄市教育委員会では、かねてより「萩野中改築推進協議会」から、萩野中学校改築の要望をお聞きしていましたが、公共施設の耐震化事業が急浮上したため改築事業との調整が必要になりました。

そこで、教育委員会では「萩野中改築推進協議会」に対して、この秋頃までに、①現状の校舎で耐震化事業をすすめるのか ②一体型小中一貫校の建設を視野に耐震化事業をしないのか、協議会として判断して欲しいとお願いしました。協議会では、将来にむけてお互い納得のいく判断ができるように、内容の理解を深めるための話し合いが必要と考えました。

そこで、教育委員会主催で、これまで『萩野中学校の改築を考える会』を以下のように開催してきたところです。

このチラシでは、これまで開催してきた『萩野中学校の改築を考える会』の概要についてみなさまにお知らせします。教育委員会では、地域住民のみなさまにこれまでの話し合いの内容をよくご理解いただき、地域の将来につながるような方向性を見出したいと考えております。

## 『萩野中学校の改築を考える会』の開催状況

- ・ 1月27日（火） 萩野中学校 萩野中改築推進協議会役員対象
- ・ 2月23日（月） 泉田小学校 泉田地区民全員対象
- ・ 2月24日（火） 萩野研修センター 萩野地区民全員対象
- ・ 2月25日（水） 昭和改善センター 昭和地区民全員対象

## 教育委員会からの主な説明内容

### ◆萩野中耐震化（耐震補強）を進めたらどうなるのか？

平成22年度中に事業が完了し、その後、萩野中学校校舎は15年程度使用可能となります。その間、少子化に伴い、市内5校の中学校の統廃合を検討することも考えられます。仮に萩野中学校を残すという結論が出た場合に、改築することとなります。耐震化が早く進みますが、改築の可能性が高くなる選択とはいえません。

### ◆萩野中耐震化事業をしないとどうなるのか？

震度6強の地震が起きた場合は倒壊の危険性が高いため、平成27年度までに耐震性を高める必要があります、それまでに改築しなければなりません。

しかし、今後、少子化がさらに進行すると予想され、萩野中学校単独での改築は難しいと思われます。そこで、教育委員会では、市が推進している小中一貫教育を萩野地区に導入し、萩野地区小中4校を統合した施設一体型小中一貫教育校を新設するという方法を検討しています。この場合、校舎が新築され小学校3校が統合されることとなります。

## 参加者からの主な質問・ご意見

### ◆小中一貫教育校のデメリットも示してほしい。

国の今後の動向として、小中学校の垣根をなくす方向にいくものと考えられますが、どの地域でもまだデメリットの検証までは至っていないのが現状です。

### ◆地域から学校をなくさないでほしい。

極小規模の学校は、多くの課題が生じやすいといわれています。角沢小学校や山屋小学校の統廃合は、そのような保護者の声や児童の充実した学校生活を考慮した結果です。

### ◆学校の耐震化は、時間を置かず、直ぐに行う必要があるのではないか。

中国四川省、岩手宮城内陸地震が起きたことで緊急性が増してきました。そこで、市では、昨年8月、耐震化事業を緊急に行うことにしました。平成27年度まで完了する予定です。

### ◆小中一貫教育校を新設する場合の場所は、どこを想定しているのか。

今後、地域のみなさまとご相談しながら決定することになります。敷地面積の広さから、現在の萩野中学校を新設場所にするという考え方もあります。

『萩野中学校の改築を考える会』の参加者は延べ100名と、決して多い人数ではありませんでしたが、熱心な議論が交わされた会となりました。みなさまにこれまでの話し合いの経過の概略をこのチラシでご理解いただいたうえで、今後「萩野中改築推進協議会」と協議し、『萩野中学校の改築を考える会』の開催方法等、これからの進め方を検討したいと考えています。

### **【お問い合わせはこちらへ】**

新庄市教育委員会学校教育課

(TEL 22-2111 内線440、442、443)